

芸術文化癒やし提供

7月1日、震災で大きな被害を受け休館していた仙台サンプラザ(仙台市宮城野区)のホール利用が、再開された。

運営を委託されている東北共立の岸浪行雄社長(57)は「久しぶりに歌声や笑い声を聞き、ホッとさせられました」と、その日を振り返る。

数破断。照明や音響をコントロールする調整卓は横倒しになった。外からは被害の大きさが見えない。「コンサートは予定通りか？」などの問い合わせがあった。

8月、町内会の夏祭りでも音響を担当する依頼が来た。「地域の方から初めて声を掛けていただいた。これが一番うれしかった」と岸浪さん。「私たちの仕事は、被災に遭っても、市民は音楽やイベントが生み出す癒やしを求めている。心の豊かさを生む芸術文化に触れる場を、いつも通りに提供するのが私たちの使命だと思っています」。

再生へ

仙台市内の主要な文化施設は軒並み震災被害を受けた。東京エレクトロンホール宮城、仙台市民会館、イズミテイ21。予定されていたコンサートや催しが、ことごとく中止や延期になった。

仙台市民会館には近くの住民が身を寄せた。指定避難所ではないのだが、同館に派遣されている社員の判断で一時的に部屋を開放した。本社も動いた。駐車場の電源車にテレビモニターを

復興を支援しようと、6月には石巻市と仙台市で被災地応援ミニコンサートを自主企画した。仙台七夕まつりや東松島市の夏祭り、若林区の仮設住宅の祭りでも



仙台サンプラザホールの復旧作業。利用者の避難時間を稼ぐため、天井が落下しても、それを受け止めるネットを新設した＝4月15日

東北共立

(仙台市太白区)

◆◆◆ 再開にこぎ着けられた。つなぎ、情報を提供した。ここで初めて津波被害の大きさを知った市民も多い。「ことし創立40周年を迎え、お世話になった市民にお返ししようと誓った直後の震災でした。サービス業に携わるものとして、少しでも手助けしたいという思いでした」と杉山さんは言う。

復興支える中小企業



メモ 1971年設立。文化施設の管理業務や舞台・テレビ・各種イベントの企画、照明、音響、映像、美術のプランニングから制作運営までを手掛ける。資本金1500万円。従業員176人。仙台市太白区八本松2の10。022(2)4(0)2101。



石巻市で開いた被災地応援ミニコンサート。企業の駐車場で有名なバイオリンリストとピアノリストが演奏し、市民80人余りが耳を傾けた11月6日